



ホストパスの冗長性

- [ホストパスの冗長性 \(1 ページ\)](#)

ホストパスの冗長性

SAN ホストパスの冗長性チェックでは、非冗長ホストストレージパスを表示できます。これは、エラーを修正するための解決策とともに、ホストエンクロージャのエラーを特定するのに役立ちます。



- (注) 検出されたすべてのファブリックにライセンスが必要です。そうでない場合、この機能はCisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web クライアントで無効になります。この機能が無効にすると、ライセンスのないファブリックが検出されたことを示す通知が表示されます。

[SAN] > [ホストパスの冗長性 (Host Path Redundancy)] を選択します。

このセクションは、次のトピックで構成されています。

診断テスト

手順

- ステップ 1 [SAN] > [Host Path Redundancy (ホストパス冗長性)] > [Diagnostic Test (診断テスト)] を選択します。
- ステップ 2 [診断テスト (Diagnostic Test)] タブで、チェックボックスを使用してホスト冗長性のオプションチェックを選択します。
- ステップ 3 チェッカーの定期的な実行を有効にするには、[24 時間ごとにテストを自動的に実行する (Automatically run tests every 24 hours)] チェック ボックスをオンにします。チェッカーは、サーバーが起動してから 10 分後から 24 時間ごとに実行されます。

- ステップ 4 **[Limit by VSANs (VSAN による制限)]** チェックボックスをオンにして、**[包含 (inclusion)]** または **[除外 (exclusion)]** を選択します。テキストフィールドに VSAN または VSAN 範囲を入力して、冗長性チェックから VSAN に属するホストエンクロージャを含めるかスキップします。
- ステップ 5 他のオプションのチェックをオンにして、関連するチェックを実行します。
- ステップ 6 **[結果をクリア (Clear Results)]** をクリックして、表示されているすべてのエラーをクリアします。
- ステップ 7 **[今すぐテストを実行 (Run Tests Now)]** をクリックして、いつでもチェックを実行します。
- ステップ 8 結果は、**[診断テスト (Diagnostic Test)]** タブの隣にある関連するタブに表示されます。

ホストパスエラー

[SAN]>[ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)]>[ホストパスエラー (Hostpath Errors)] タブを選択して、ホストパス冗長性エラーテーブルを表示します。テーブルの上部には、**[良好 (Good)]**、**[エラー (Errored)]**、および**[スキップ (Skipped)]** の状態のホストエンクロージャの数が色付きで表示されます。

次の表では、**[SAN]>[ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)]>[ホストパスエラー (Hostpath Errors)]** に表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
ホストエンクロージャ	エラーを含むホストを指定します。これらは、エラーが発生したホストエンクロージャ内の各パスの数です。
ストレージエンクロージャ	エラーが発生しているコネクテッドストレージを指定します。
説明	エラーの説明を指定します。
[Fix]	エラーを修正するソリューションを指定します。エラーをポイントして、エラーを修正するソリューションを表示します。
最初の確認日時 (First Seen)	エラーが最初に発生した時期を指定します。

次の表では、**[アクション (Actions)]** メニュードロップダウンリストで、**[SAN]>[ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)]>[ホストパスエラー (Hostpath Errors)]** に表示されるアクション項目について説明します。

アクション項目	説明
無視するホスト	テーブルから行を選択し、 [ホストを無視 (Ignore Host)] を選択して、選択した行のホストエンクロージャを除外リストに追加します。そのホストからのエラーは報告されなくなり、現在のエラーはデータベースから削除されます。
ストレージを無視する	テーブルから行を選択し、 [ストレージを無視 (Ignore Storage)] を選択して、選択した行のストレージエンクロージャを除外リストに追加します。
ホストストレージペアを無視	テーブルから行を選択し、 [ホストストレージペアを無視 (Ignore Host Storage Pair)] を選択して、選択した行のホストストレージペアエンクロージャを除外リストに追加します。
結果の消去	テーブルから行を選択し、 [結果の消去 (Clear Results)] を選択して結果をクリアします。

無視されたホスト

[SAN]>[ホストパスの冗長性 (Host Path Redundancy)]>[無視されたホスト (Ignored Host)]タブを選択して、冗長性チェックによってスキップまたは無視されたホストエンクロージャのリストをスキップの理由とともに表示します。

次の表では、[SAN]>[ホストパスの冗長性 (Host Path Redundancy)]>[無視されたホスト (Ignored Host)]に表示されるフィールドについて説明します。ホストエンクロージャを選択し、**[無視を解除 (Unignore)]**をクリックしてホストを無視リストから削除し、無視することを選択したホストに関するエラーの受信を開始します。

フィールド	説明
ホストエンクロージャ	エラーを含むホストを指定します。

フィールド	説明
理由を無視する	<p>ホストが無視された理由を指定します。</p> <p>次の理由が表示される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [スキップ：エンクロージャには HBA が 1 つしかありません。 (Skipped: Enclosure has only one HBA.)] • [ホストはユーザーによって無視されました。 (Host was ignored by the user.)] • [複数のフェデレーションサーバーによって管理されるホストポート。チェックを実行できません。 (Host ports managed by more than one federated servers. Check can't be run.)] • [スキップ：ストレージへのパスが見つかりません。 (Skipped: No path to storage found.)]

無視されたストレージ

[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたストレージ (Ignored Storage)] タブを選択して、冗長性チェック中に無視するように選択されたストレージエンクロージャのリストを表示します。

次の表では、[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたストレージ (Ignored Storage)] に表示されるフィールドについて説明します。ストレージエンクロージャを選択し、[無視の解除 (Unignore)] をクリックして、無視するリストからストレージを削除し、無視することを選択したストレージに関するエラーの受信を開始します。

フィールド	説明
ストレージエンクロージャ	エラーが発生しているコネクテッドストレージを指定します。
理由を無視する	ストレージが無視された理由を指定します。

無視されたホストストレージペア

[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたホストストレージペア (Ignored Host Storage Pair)] タブを選択して、冗長性チェック中に無視するように選択されたホストストレージペアのリストを表示します。

次の表では、[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたホストストレージペア (Ignored Host Storage Pair)] に表示されるフィールドについて説明します。行を

選択し、[無視の解除 (Unignore)] をクリックして、ホストストレージペアを無視されたリストから削除します。

フィールド	説明
ホストエンクロージャ	エラーを含むホストを指定します。
ストレージエンクロージャ	エラーが発生しているコネクテッドストレージを指定します。
理由を無視する	ストレージが無視された理由を指定します。

